

平成 23 年 09 月 26 日 「ふるさと回帰フェア in 早稲田大学 その 2」

掲載日:2012 年 9 月 26 日

平成 23 年 09 月 27 日 「ふるさと回帰フェア in 早稲田大学 その 2」

< 前回までのお話 >

地方への移住を考えている人や、農村体験をしたい人など、

田舎に興味ある方たちのための総合展示・相談イベント

「ふるさと回帰フェア 2011」

<http://www.furusatokaiki.net/fair/2011/> (回帰フェア公式 HP)

が 23 日に東京都新宿区・早稲田大学開催されました。

空き家バンクや、就農支援などで、

朝日町への移住希望者を募集している朝日町としては、

このチャンスを逃すまいと、中の人・マサキさん・サトウさんの 3 人に、

会場で町を PR してくるよう指令が出ました。

前日の台風で、荷物の到着が遅れるなどのハプニングはあったものの、

朝日町の紹介ブースは無事設営をすることができました。



準備完了(おとなりは尾花沢市さんです。)

ちなみに、この「ふるさと回帰フェア」では、

PRをしたい自治体が、講義室の一角を借りて

相談用のブースを作り、お客様の対応をするスタイルです。

いよいよ会場の10時。

待っていてももちろんお客様は来ませんので、

まずは入り口でのピラ配りからスタートです。



ビラを配る準備をする中の人

まずは正面ゲートで配布をスタートしようとしたその時でした…！

??? 「そろそろあたしの出番のようね！！」

マサキ・サトウ「だれ????」

中の人「ついに来たか…」

ここで、なんと助っ人が登場したのです！！

<ここからが今日のお話>

中の人「お待ちしていましたよケイコ先輩」

突如登場した謎の助っ人、その名はケイコ先輩！



ポーズを見てご納得いただけるだろう。2人は先輩と後輩である。

マサキ「あ、もしかして、以前に旧立木小学校のあとリエマサトで活躍していた、

ケイコさんですか??」

何かに気づいたマサキさん。

ケイコ「そうです。あとリエマサトでは大変お世話になりました。

その後、結婚を期に神奈川に移住したのですが、

今回、(送料の関係で)参加できないウサビの分をサポートできればと思って駆けつけたんです。」

マサキ「おおお！お久しぶりです。」

サトウ「…あとリエマサト??」

「あとリエマサト」とは

立木地区にある旧立木小学校は、一部をアトリエ & 展示スペースとして芸術家たちに貸し出す試みをしています(アートインレジデンス)。

「あとリエマサト」はそのスペース及び活動の名称です。中の人のが通っていた東北芸術工科大学の卒業生も、ここで制作している方が何人かいらっしゃいます。

(現在は 4 名の芸術家がマサトを拠点に活動をしています。)

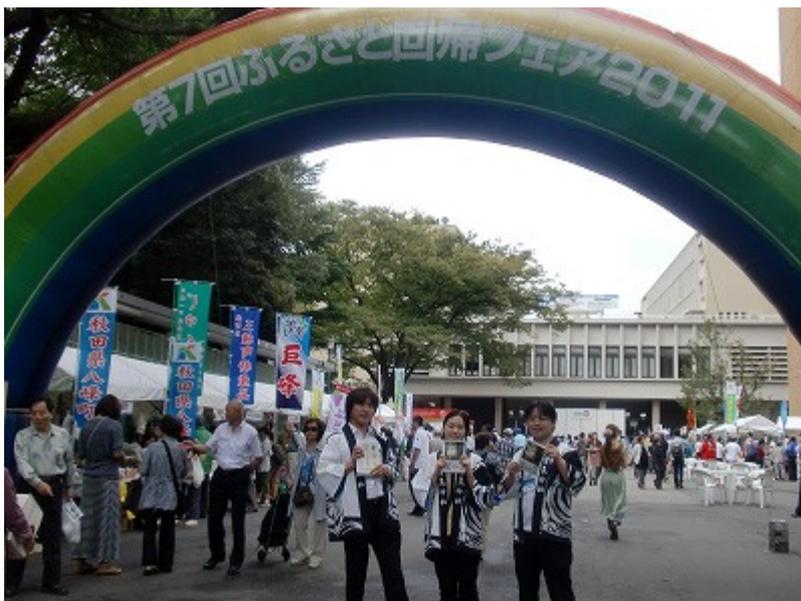
ケイコ先輩は 2008 年まであとリエマサトで活動していた絵画の作家さんなのです。

今回のフェアは移住促進のためのイベントだったので、

朝日町に住んだことのある方を助っ人に呼べればということで、

ケイコ先輩にご連絡したところ快諾いただき、

こうして PR を手伝ってもらうはこびとなりました。



会場正門にて記念撮影

中の人とケイコ先輩の2人は、

入り口で来場者にチラシを配布します。



朝日町を離れたからこそ、朝日町のためにできることがいろいろある。

こういった場でのPRもその1つだな感じます。



頼もしい仲間を得て、チラシ配りがはかどります。

ちなみに、今回配布したチラシはこんな感じです。



201教室に朝日町ブースがあります。

こんな冊子を買えたりします

朝日く 朝日くらぶ

朝日町で暮らす・働くヒントが満載
「朝日くらぶ」
朝日町で暮らしたい。仕事を起こしてみたい—
そんな方におすすめの1冊がこの朝日くらぶ。
移住してきた方の体験談や古くからの生業に従
事する人のお話がいっぱい詰まっています。
季刊発行で年4回出ています。
※他にも様々な情報冊子があります。

ブースにお越しの方に
朝日町の蜜ロウソク
プレゼント (数量限定)

写真は、今回の来場者プレゼント「蜜ろうそく」をご提供いただいた

ハチ蜜の森キャンドルさんの店内で撮影しました。

([ハチ蜜の森キャンドルさんホームページはこちら](#))

僕らがチラン配りに精を出す一方。

朝日町への移住をおすすめするブースでは…

サトウさんが奮闘中！！



朝日町の魅力を、自作のパネルを使って紹介します。



30分以上かけて熱心に話を聞いてくれるお客様もいました。

そこに、マサキさんも合流。



朝日町の紹介はこに2人に任せとけ！！

就農に興味がある人、

老後を田舎で過ごしたい人、

子どもたちのために、自然豊かな環境を求めている人、

お客様ひとりひとりがそれぞれの理由で、

朝日町の情報を探めてブースにいらっしゃいました。



中の人とケイコ先輩もブースに戻って、相談員をしました。

立木地区での在住暦が3年以上のケイコ先輩は、

蜜ろうそくやりんごジュースの説明も手馴れていて勉強になります。



大人気だった来場者プレゼント

「ハチ蜜の森キャンドルさんの蜜ろうそく」を紹介するケイコ先輩

一方、来場者の学生さん(農大生)と意気投合した中の人は、

ちゃっかり、朝日町に来てもらって遊ぼうという約束まで取り付けてこの笑顔。



りんごジュースで乾杯

ぎりぎりまでお客さんが絶えなかった朝日町ブース。

去年のおよそ2月5日倍ほどの来訪があり、

大盛況で閉幕となりました。



みなさん時間ギリギリまでお疲れ様でした。

定住促進という、なかなか実現までの道のりが遠い目標を目指し、

その最初のとっかかりをつかむべく参加した今回のふるさと回帰フェア。

ここで出会った人たちとの関係を、

これから少しずつ深く、長いものにしていくことが僕たちの課題だといえます。

また今回、ケイコ先輩が来てくれたように、

朝日町と縁のある関東の方が、なんらかの形で町のことに関わってくれるというのも1つのよいカタチなのではないかと思います。

朝日町に住んで欲しい人、

朝日町を巣立った人、

いろいろな人との縁が繋がる場として、このようなイベントに

これからも積極的に参加していければと思います。

マサキさん、サトウさん、ケイコ先輩お疲れ様でした。

来年は、ウサヒも連れてイベントに参加しましょう！！

「ふるさと回帰フェア編」完結